

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	高齢者の自立支援、介護予防・重度化防止の推進
------	------------------------

現状と課題

高齢化率が、全国平均・県平均と比べ 10 年以上早い水準で推移している平戸市では、いち早く生活支援、介護予防新体制の充実・強化を図る必要がある。

高齢になっても可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び日常生活の支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」を段階的に構築し、健やかに暮らせる安全で安心なまちづくりを推進していく必要がある。

第 8 期における具体的な取組

● 地域ケア会議の開催

個別事例の検討を通じて、さまざまな職種の専門家によるケアマネジメント支援を行うとともに、地域のネットワーク構築、地域課題の解決、市の施策形成につなげるなど実効性のあるものとして定着・普及を図る。

目標（事業内容、指標等）

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
実施回数目標（回）	50	50	50	28	28

目標の評価方法

● 時点

中間見直しあり

実績評価のみ

● 評価の方法

地域包括支援センター運営協議会での評価（毎年）

取組と目標に対する自己評価シート

年度	令和4年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容
自己評価結果
課題と対応策

後期（実績評価）

実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援型地域ケア個別会議の実施 ・ 令和2年度地域ケア個別会議アンケート結果を協議し、令和3年度の対策を講じた。
自己評価結果
<p>評価【◎】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援型地域ケア個別会議の実施（25回・28事例）。また、会議の質を重視することを目的に、令和2年度の予定回数50回から、令和3年度・令和4年度においては28回に減らした。なお、令和4年度予定回数28回から実績回数が25回に減ったのは、コロナ感染症の影響によるものであった。 ・ 多職種が参加する会議により、地域のネットワークを構築し、地域課題の解決を促進する取組みができた。 ・ 専門職アドバイザー（歯科医師、歯科衛生士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、認知症介護指導者 延べ79人）によるケアマネジメント支援や地域づくり等に関する助言を受けた。 ・ 令和2年度に介護支援専門員、介護事業所、専門職アドバイザーを対象としたアンケートによる評価を行った。地域課題の不明確化等の結果を踏まえて、高齢者支援センターや県北保健所と令和3年度の実績について協議を行った。令和4年度の実績として、事前訪問・ケア会議後打合せを行い、地域課題の明確化と課題解決のための役割分担を決めていくこととした。 ・ 感染症の影響を受けずに開催できる体制（WEB会議）を整備することができた。
課題と対応策
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各立場でのスキルアップが必要なため、研修等を行う必要がある。 ・ 地域課題を解決するための地域の担い手（サポーター）の掘り起こしやマッチングが円滑にできるように周知を行っていききたい。